



各 位



2025年6月13日

会 社 名 株式会社ジェネレーションパス  
代 表 者 名 代表取締役社長 岡本 洋明  
(コード番号：3195 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 鈴木 智也  
(TEL. 03-5909-2937)

## 2025年10月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年12月13日に公表いたしました2025年10月期(2024年11月1日～2025年10月31日)の通期連結業績の予想値について、下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結業績予想の修正について

2025年10月期(2024年11月1日～2025年10月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	17,500	120	120	90	11.09円
今回修正予想(B)	17,500	120	160	150	18.48円
増減額(B-A)	—	—	40	60	7.39円
増減率(%)	—	—	33.3%	66.7%	66.6%
(ご参考) 前期実績 (2024年10月期)	16,235	81	22	△138	△17.10円
(ご参考) 対前期実績増減率	7.8%	46.8%	617.9%	—	—

#### 2. 修正の理由

2025年10月期中間連結会計期間において、当社は売上高で中間連結会計期間における過去最高を達成し、全ての段階利益において前年同期を大きく上回る力強い進捗を記録いたしました。とりわけ、中期経営計画における重点施策であるD2C(Direct to Consumer)モデルの深化と、当社の技術的強みである機能性繊維を活用した新規製品開発やアパレル分野への展開が戦略通りに成果を上げており収益力の底上げに直結しております。

また、財務体質の改善を目的に実施したデット・エクイティ・スワップの効果として、一時的な為替差益も加わり、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益において想定を大幅に上回る見通しとなりました。

こうした状況を踏まえ、今後の見通しについて改めて検証した結果、当初予想と比較して経常利益は33.3%、親会社株主に帰属する当期純利益は66.7%の上方修正となる業績予想へと見直すことを決定いたしました。

### 3. 当期業績の進捗状況

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想	17,500	120	120	90
2025年10月期中間期実績	8,339	79	127	121
進捗率(%)	47.7%	66.2%	106.3%	135.2%

2025年10月期中間連結会計期間における当社の業績は、D2Cや機能性繊維事業の進展により、売上・利益ともに戦略的施策が奏功し、上記の通り経常利益以下が達成超過になる等、極めて良好な進捗を示しております。

一方、今後の為替動向や国際的な通商政策（関税等）については依然として不確実性が存在しており、現時点ではこれらを慎重に見極めつつ、売上および営業利益の予想値については保守的な姿勢を維持しております。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、監査法人による会計監査前の数値であるため、2025年12月15日発表予定の決算短信と異なる結果となる可能性があります。

以上